土曜演藝

朝鮮映畫の進む道
新しき歴史の繼承と使節問題

徐　光霽

朝鮮映畫が企業として成立ち、それもトーキーに非ずんば最早映畫としての生命がないといふことを一般が認めたのは昨年の『旅路』の發表後である。内地に於てさへも映畫事業が漸く採算のとれる企業の一部門と目されるに到つたのは極めて最近のことなのだから、一段と文化が遅れた朝鮮で今日までの映畫製作は文字通り艱難たるものであり、この艱難なる試練の道を文化の十字架を負つて歩んだ朝鮮映畫人のヴイクテイムといふものは實に偉大なるものであつた

藝術の分野に於て最も寫實的であり大衆に呼びかける力が強く、大衆自身もこれを愛好しながらも、映畫製作をまともな事業と認めず、企業家達も個人としてはこの投機に種々雜多な人間の喜悲劇を織り込ませながら、しかも映畫の映の字だけの理解も示してゐなかつたのがいまゝで朝鮮の映畫界がおかれた狀態であつた

今日まで朝鮮映畫の向上が遅れた重大の原因として、僕は第一には勿論朝鮮の特殊な情勢、特に經濟的に惠まれてゐなかつたことを最大の原因として擧げるが、第二には文化戰線の第一線に立つてゐて朝鮮知識階級の最先鋒であるべきはずの朝鮮文壇人が、全然朝鮮映畫に無關心であり無知であつたことである。その第三は在來の朝鮮映畫監督が餘りにも無教養で藝術的な良心に缺けてゐたことである

作しながら過去は永遠にフエイド・アウトさせても良い。輝かしい前途の光明を仰ぐ明日の朝鮮映畫の不幸はその名に値する一人のプロデユーサーなきことであつた

今や手工業的商品の生産時代から資本主義的な映畫企業へと質的飛躍を遂げんとする轉換期の朝鮮映畫を如何に方向づけようとするかは、實にわれら若きシネアストの重大な使命なのである

今日の朝鮮の文化はいふまでもなく總て内地のそれをそのまゝ移入したものであるが、映畫とてその例外ではない。で今日の朝鮮映畫も當然内地の凡ゆる映畫技術を吸收せねばならない。映畫のメカニズムは如何なる名原作も映畫化に當り製作のシステムを無視したりテクニツクを疎かにすることを許さないのはいふを俟たない。況してその配給市場を内地に求めんとしてゐる今日、一日も早く技術的に内地映畫會社と緊密に提携して、朝鮮映畫の全般的向上を圖ると同時に或る程度は經濟的に製作費の共同負擔をも辭さなければならない場合があるであらう。但し僕が恐れるのは内地の映畫資本が全的に朝鮮映畫の製作費を支出するやうになり更に積極的に撮影所でも朝鮮に設けるやうになつた場合には正直なところ朝鮮映畫の本當のローカル・カラーは勿論、朝鮮の感覺をも失つて仕舞ひはしないかといふことである。内地人の作つた朝鮮映畫は本當の朝鮮映畫ではない。飽くまでも我々の手で作つたものは本當の朝鮮映畫である

近ごろ朝鮮の映畫配給者達の内地往來が頻繁で、その人達が、恰も朝鮮映畫の使節の樣な顏をしてこちらの事情を說つて紹介したり逆に種々の營利本位の契約を結ばうとしてゐる樣であるが、それらの人達はプロデユーサーでもなければ、藝術家ではなほさらなく、我等の映畫使節でもない。随つて本當に惡戰苦鬪して今日の朝鮮映畫の基礎を築き上げた映畫人が内地に行つて本當の朝鮮映畫界の現狀を傳へようとする時に非常に困るのである

僕は朝鮮映畫界が眞實の明朗さに溢れる日の來ることを切に待つてやまない

活氣づく半島映畫
今度は朝鮮の名小說『無情』を新生の朝鮮映畫會社が發聲化

洋畫の輸入統制の影響を受けて我が國の映畫界に於て大陸映畫と共に漸く注目されて來た朝鮮映畫は東寶と提携した聖峰映畫園の時局映畫『軍用列車』及び半島映畫製作所の劇映畫『漢江』に次いで最近新設立された朝鮮映畫株式會社の第一回作品として全發聲『無情』の製作發表となつて斷然活潑な動きを見せて來た、この『無情』は朝鮮の尾崎紅葉ともいふべき春園李光洙の原作であり朝鮮に於ける最初の本格的な新小說として大正六年本紙の姉妹紙たる每日申報紙上に連載され絕大のセンセーションを喚起したいはゞ『金色夜叉』に匹敵ふべき問題の小說である、脚色及び監督は朴基采氏、主演は過般の第一回演劇コンクールに演技賞を受領した人生劇場のプリ・マドンナ韓銀珍孃、太平レコードの歌手崔南鏞氏その他で閨秀作家崔貞熙女史の特別出演といふ興味あるキヤスト、來る二十日よりクランクを開始、五月下旬には封切の豫定で朝鮮映畫の劃期的大作として期待されてゐる【寫眞は韓銀珍孃】

半島の時局物 〝軍用列車〟

既報半島映畫人集團、聖峰映畫園と東寶映畫株式會社との提携第一回作品たる鐵道後方部隊の時局物『軍用列車』は既に撮影開始のトツプを切つたが、今度の製作に於ては鐵道局、京城鐵道兵隊の後援を得てスリルある列車のシーンを撮り入れるなど、大規模な撮影を敢行封切は遅くも四月下旬頃、内地、朝鮮一齊に公開する豫定である（寫眞は王平の金點用と文藝峰の金玲心）

東郷青兒油繪展
けふから三越に開かれた〝ミニアチユール〟の出陳

中島春の美術界に魁けて、今年もまた東郷青兒君が小品の個展を提げて京城へ來て、十九日から廿三日まで三越五階のギヤラリーに蓋を開けた。私は『今年も』といつた。さうだ。たしか一昨年の晩秋以來のことである。

しかし前回に比し今度は『ミニアチユール』と銘を打つてゐるところが變つてゐる。ミニアチユールといふのは元來ソローチその他へ虫眼鏡を以て描く手法の繪で、零號以下にこの名を用ひはじめたのは東郷君を以つて嚆矢とする。そしてその小品に盛られた感覺、技法は東郷君によつてのみ完しの感あり、京城人はこゝに初めて眞のミニアチユールを見る譯である

全體に前回は日と與との二色で描かれてゐたものが、今度はその雙方の調子を接近せしめ、複雜化させ、微妙にポーズや色調の上に近代感覺を表現してゐることは『初夏』及び『金と銀』にその効果を見『黒い手袋』もなつかしく、ミニアチユールでは半裸の『憩』にその纖細なる神經を感ずることが出來る。

また『十九世紀』と題する七作品は、フランス人形に見る淡い鄕愁を漂はせ、高踏に流れず卑俗に墮さない程度の大衆性のうちに美の認識を强調してゐる。

ほかに一昨年の二科展に出した三十號の『手袋』昨年の二科展に出品した『微風』も特別出陳されてゐるが、女學生や若いインテリの群が前を離れないのも、流石作者の感覺表現にすぐれた技法の魅力だと思ふ。（鄭生）＝寫眞は『黒い手袋』

不連續線

〝子〟

朝鮮の婦人の名に『子』の字のついてゐるのは面白いと思つたが、聞いて見れば、何も内地の婦人の名を眞似た譯ではなく、昔からある名ださうである。

そこで、早い話が、京城にゐる妓生の中で、この『子』をつけた女が何人あるか。

朝鮮券番に李貞子、金鐵子、金順子、金英子、金春子、金蓮子、鄭松子、鄭蓉子、林銀子、羅貞子、卞梅子、韓淑子、吳鐵子、吳英子、尹順子、秦蓮子、成銀子、鄭英子、黃順子、崔梅子、金鏡子、李松子があり、鍾路券番に李金子、李花子、李順子、李玉子、李春子、金花子、金松子、金貞子、安玉子、崔金子、崔順子、崔春子、崔梅子、林松子、趙英子、姜英子、宋英子、卞順子、郭英子、嚴蓮子があり、漢城券番に李銀子、金順子、崔英子、洪花子、洪金子、韓金子、朱金子がある。

殊に目立つて多いのは英子と順子で、以下梅子、蓮子、花子、鐵子、金子、春子、銀子といふ順になつてゐる。

『どうだ。驚いたらう』

そんなことを調べて、僕に見せて呉れた男がある。

『驚いた』

僕が驚いたのは、その男のそんなことを調べあげた根氣に對してであつた。

わらわし隊 京劇へ
砂川捨丸一行

近く京城劇場に來演する砂川捨丸一行のわらわし隊四十餘名中には初御目見得の江戸生粹曲藝の丸一連が北支へ出征中の小鐵を除く外幹部が總出演し、元大勝一行で鳴らした運動曲藝のクレバ新治を始め、一行中の紅一點とも云ふべきは山村速の舞踊與子軍需市、小豊の曲彈き、芳子の舞踊が花を添へ、漫才では東寶專屬の名人會の花形新之助、愛之助の二人組音曲等がある（寫眞は砂川捨丸）

朝日座の漫才

京城朝日座では十九日から五日間漫才諸藝大會として淵八と八千代會の連中を迎へる。一行は若手揃ひの大、正、昭、特別出演としては東人の美談を漫才でいふ小山慶丸、瑞系金八、音曲漫才の浪花淳岸丸玉子家京一、女流漫才のキヤツトマリー、ローズ等がある、毎夕六時開演（寫眞は八千代會の寶音家愛子）

園成社の出し物

京城園成社では十九日から廿六日まで晝はマキノ映畫マキノ輝子、田村邦男主演『兩祭五人男』前後篇を上映、夜は實演『十五分間』一幕、家庭悲劇『やまつばめ』三幕三場を上演

次週番組

三、草劇場（廿二日より）▲東寶京都作品小林重四郎、鈴木京子主演『五分の魂』▲フオツクス作品『キヤラバン』▲小林重四郎、佐々木信子、千代、支島峰子によるアトラクション

浪花館（廿二日より）▲新興京都作品尾上榮五郎、淺香新八、高山廣子主演『子育て仁義』▲RKO作品ジョン・オブライエン主演『假面の人』▲リチヤード・タルマッヂ主演『押し込み無法』

中央館（廿二日より）▲大都作品木下双葉、松山宗三郎主演『姐妃のお百』▲大都作品ハヤフサ・ヒデト主演『男の横顏』▲ユニヴアーサル作品バツク・ジョンズ主演『大金鑛』

喜樂館（廿三日より）▲岡讓二、入江たか子主演『白衣の佳人』▲日活京都作品、片岡千恵藏主演『赤西蠣太』▲日活多摩川作品中田弘二、黒田記代主演『花嫁べからず讀本』

〝世紀の合唱〟
愛國行進曲の作曲者を描く
廿一日AKから放送

東寶東京撮影所が創立百本記念映畫として小林勝原作、脚色、内[illegible]情報部選定による『世紀の合唱』（愛國行進曲）は三月下旬には完成される豫定であるが、來る二十一日東京中央放送局より全國へ向けて中繼放送される段取りとなつた。同映畫では瀬戸口翁に瀧澤修が扮してゐるが放送では汐見洋が瀬戸口翁を演ずるはずである（寫眞左は瀧澤修の瀬戸口翁、右は御橋公の木全氏）

配役

役	俳優
瀬戸口藤吉	瀧澤修
齋藤樂長	藤原釜足
木全氏	御橋公
瀬戸口夫人	英百合子
長男	北澤彪
次男	佐川亮
田邊	高村弘二
高田樂長	汐見洋
森川青年	佐伯秀男

梗概

我が海軍の艦艇が大洋を衝いて驀進する光景を偲ぶ時、勇壯な『軍艦マーチ』のリズムは鼓膜を打つて我等の耳朶を打つ。三國干渉に悲憤の涙をのんだ國民の熱烈な愛國心が凝つて富士艦獻納となり、世を擧げて、臥薪嘗膽に泣いた明治三十三年、切齒して『軍艦マーチ』作曲に腐心する一軍樂師があつた。樂想、半にして苦鬪の日を過す瀬戸口樂手は悲壯にあつたが、折柄の艦隊演習に參加して各艦兵砲一齊射撃の壯烈さに打たれ始めて微笑が面上に浮んだ。瀬戸口氏三十三歲の壯年の秋である

かくて『軍艦マーチ』の名曲は完成され、日本海々戰大捷の歡喜と共に我等の腦裏に深く刻された

以來、帝國海軍々樂長としての幾年、瀬戸口氏は樂師訓育に不撓の努力を傾さ、多數の部下を育成した。後の齋藤樂長も此の一員である

諸外國に魁て軍樂隊にオーケストラを採用したのも瀬戸口樂長の卓見によるものであつた

多大の功績を殘した瀬戸口氏も五十歲の陸樂長を辭した。此の日大正六年十一月十四日、樂長引退告別演奏會に、樂長として最後の指揮をする軍樂隊の演奏は、絕讚の嵐を浴びたが、聽衆に謝へる樂長の眼には何も遠大な希望の光が充ちてゐた

☆

引退後、瀬戸口翁はその長男武男と同志大學生等の吹奏樂隊練習に鞭を揮つた。又田邊の酒を飲んでの練習をきびしく叱つた事もあつた。が、此の熱意の宇宙・部下を思ふの情に厚く、前には隊員で、酒の為職を免ぜられ、映畫館の樂士となつた木全氏に除隊になる部下の就職を賴んでやるのだ。老骨もいとはず『煙草五本位の所だ』と徒歩で訪ねる熱心さだ。非常な愛國家で[illegible]

七十歲近くになつて、少年にも使ひ易い樂器をと心掛け、長男の同志だつた田邊の、樂器製造工場の顧問になり、少年鼓笛隊を編成して、その訓練に全力を盡した。この努力によつて全國に少、青年の鼓笛隊は夥しく成長して往つた

或る日大歌劇の指揮を頼みに木全氏の來訪を受けたが、老骨この任に非ずと斷つて、木全氏を送り出す時、中風の發作に倒れ、病床に伏す身となつた翁、然も尚鼓笛隊練習に耳をかす翁だつた

☆

突如として北支の一角に興つた不祥事件は擴大して支那事變となり、夜となく晝となく動員は續延された。勇壯な進軍が續いた。その進軍の先途には、翁の丹精に成長した鼓笛隊の一隊がある。見送る翁の眼には涙が光つてゐた。此の頃、翁の後任齋藤樂長は軍艦足柄に乘組み、英國皇帝戴冠式參列の重大使命を果して歸朝したが、土産話の數々に翁の功績を稱讚するものはかりだつた。その中でも『我が足柄がキール運河にさしかゝり獨逸軍艦とすれ違つた時ナチスの歌を送つてやると、向ふから軍艦マーチを返して來た』との報告には、翁の胸は打震へた。それにつけても我が國には、日常、工場の片隅で、或は街頭で、誰にも歌へる愛國の唄のない事を痛感する翁であつた。かゝる間にも、日支の戰線は益々擴大して行く。國民精神總動員と共に愛國歌の要求は期せずして起こる。内閣情報部から『愛國行進曲』の歌詞が募集された、當選の榮譽をかち得たのは二十三歲の森川青年の歌詞である、續いて此の歌詞の作曲の募集となつた

☆

病床の瀬戸口翁も新聞に此の事を知つて、不自由な身にも燃ゆる作曲慾を抑へかね、作曲應募を決心するのだつた

『もし落選すれば軍艦マーチ以來の名譽も臺なしだ』との家人の諫止も聞かず、病苦と鬪ひながら作曲を續ける血の滲む姿が見られたが、最初の二三小節の不滿が又しても翁を苦惱の淵に落し入れた。

懊惱の幾日

進軍又進軍。途に南京陷落に國民歡喜の日は來た。歡呼の嵐、行進の洪水は沸き、鼓笛隊の旋律は轟きわたつた

此の旋律は懊惱の淵から翁を救ひ、力強き作曲は成つた。此の歡喜は報いられて、待望の第二國民歌曲『愛國行進曲』は我等に與へられたのだ

歌へ！轟け！愛國行進曲！この斯く歌に國歌『君が代』と共に永遠に傳へられ、軍樂一途七十翁の榮譽は永久に不滅の光を放つであらう。正に瀬戸口翁の生涯こそ軍樂の光榮にたちたものである

映畫ニユース

◇松竹大船の清水宏監督が、六年振りで田中絹代主演の自身書卸し作品であり、又、田中絹代と上原謙が『男性對女性』並に『新道』以來三年振りの顏合せと云ふ——顏合せ三重奏とも謂ふべき山らく附のオリヂナル野心篇は『出發』と題名決定、佐分利信、三宅邦子、坪内美子、近衞敏明、笠智衆、突貫、爆彈小僧等の完璧スタツフを以て齋藤正男キヤメラにて撮影を開始した

今晩のラヂオ

六時『[illegible]のおけいこ（東）ダノ道子▲六時二五分『[illegible]漁村への時間（城）[illegible]▲七時三〇分特別講演（東）農林省農務局長小濱八彌▲七時四〇分講演（東）山田わか▲八時傷病兵士慰問の夕（東京第二陸軍病院より）▲九時ピアノ獨奏（東）レオニード・クロイツアー

國定忠次（228）

長谷川伸 作
岩田專太郎 畵

五目牛（四）

忠次は長い年月、別れてゐたお德の姿を、足音をたよりに、暗い中で探してゐる。頭蜘が

「あすこだ親分。ほら、あすこに黑い物が動いてゐるのがお德さんに極まつてゐる」

成程、人が勾配のゆるいここへのぼつてくる、が、姿は男か女か一ッしかない。忠次は

「あれは喜久が一人で迎つてきたんだらう」

「さう云へば一人ッきりだな。お德さんなら喜久が付いてくる筈だ」

頭蜘もすこし落膽してゐる、と忠次が

「おう、お德らしいぜ蜘や」

近くなつたので、黑い姿のどこやらに、男にない丸みが見えてきたのである。

「蜘や。矢ッぱりお德だ」

來たのはお德である。十二三間も先で立停まり、木の茂みの中を透して見てゐる。頭蜘が飛んで行つて、

「姐御、五目牛の姐御」

泣聲になつて手をとり、引ッぱつたお德は、

「蜘さんかい、壯健でよかつたね。親分は、どこにおゐでなさるんだい」

「あすこだ。ほら、木の下だ見えるだらう」

「見えないよ。あ、見えた。親分」

思はず甲高く呼んだので、忠次は、

「靜かにしろよお德」

お德は駈け寄つて行つて、

「まあ親分よく歸つてきておくれだねえ」

「お德、無事か」

「お蔭で體だけは無事ですよ。親分もご無事で何よりです。こんな處にゐないで家へ何故きてくれないんです」

「遠慮といふやつさ」

「あたしに遠慮はいらないでせう、他の女達と一緒にしなさんな」

備た詐術の裡に、本妻のお鶴、妾のお町、二人に放つ嫉妬の嫉があるが、忠次は氣にとめず、

「なあに、お上へ遠慮。喜久はどうした？」

「下で見張りをすると云つてゐました」

「さうか」

「ねえ親分、さ、家へお出でなさい。五目牛のお德の家は親分が建てて下すつた家ですよ」

「まあ待つてくれ。蜘や」

「へえ」

「喜久を呼んできてくれ」

「へえ」

「蜘さん。ご苦勞だね」

お德は頭蜘のうしろ姿を見送つて、

「親分。又何處かへ行くのかえ」

「行かにや成らねえ樣子か、お德この頃こつちはどうなんだ」

「親分、國定へ歸つておくれではないか」

「歸る氣で來たのだが、歸つていいかどうか、そいつを俺は聞きてえ。まだ無謀がきめ切れねえたらもう二三年旅でくらさう」

「親分は知らないだらうけど、この頃の上州では、新田來のヘッぽこ共が、雨跡りあげくの茸みたいに、によきによき頭を擡げやがつてねえ。縱に踊ることばかりさ」

「さうか。鳥がゐなけれや蝙蝠が鳥、てえな顏をするものさ」

「國定へ元の通り、居据はつてくれですね」

「歸つたはいいが、縛つてきしたので御用の手が降つてきたの故はねえ」

「親分。お前さん弱くなつたねえ」

「弱くなつた？へへ、弱くはならねえ」

「だつて」

「評判をする氣が出ただけだ。以前の俺なら、いざといへば下手な大名より人數も集められたが、土地を賣つてもう十年、十年一昔といふが、その割にいへば半昔だ、畑の收穫だつて半年打棄つといてみろモノにや成らねえ。まして人間さ、五年も打棄つといたのでは質地師直しより他はねえ」

「そんなことがあるもんかね。こちらの衆は親分を忘れてはゐませんよ。親分、元のやうにもう一度火花の散るやうな親分になつておくれ。さうでないと昨今のやうに出來星どもが我儘に振舞つて、…いかないね」

「その後、どこかにいい親分が出來たか」

「馬鹿な話。…ならうが、勝手放題の放題ですよ。今の…この縣限で、…よく生れた娘ッ子は可愛さうなものですよ。親分が國定にちやンとしてゐた頃とは違ひ、…無鐵砲だらうが何だらうが、平氣だからね、本當に斯になつちまふ」

氣象が男ッぽいお德が袖口で涙を拭いてゐる。

京城日報　朝刊　本紙朝夕刊共十四頁

ガソリンを使はずに木炭で走る自動車 素晴しい科學の進步

今度の支那事變には澤山の費用がかゝりますので今まで外國に拂つてゐたお金をこれからは出さないやうにせねばならぬと政府では色々な法律を作つたり日本で出來る品物を使ふやうにすゝめたりしてゐます、この中で石油、ガソリンは日本ではほんの僅かしか出ないので外國から買つてゐますが、そのガソリンにアルコールをまぜたり、石炭からガソリンを採つたり定められた量より澤山買へないやうな切符が發行されたりしてゐます何しろガソリンを一番澤山使ふのは自動車なので、ガソリンの代りになる薪炭を使ふ薪炭自動車といふのが現れ、總督府でも出來るだけ朝鮮の運輸業者に使はせようと試驗的に六臺ばかり註文中で近く送られて來ることになつてゐます

◇薪炭をガスにして、機械を動かすことは、近ごろのことではなく、日清戰爭のころ外國で試みられた、歐洲大戰が始まつた時にはどうしても必要となつて盛に研究がつまれ、段々立派なものになつて來たものであります、それが近頃になつて益々發達し、トラック、バス乘用車に使はれるやうになりましたが我が國では前に述べた樣な譯で農林省や商工省がこれを獎勵し陸軍自動車學校その他のお役所でも研究してガソリン節約といふ目的から物凄い勢ひで色々の種類の薪炭自動車が現はれて政府でも試驗の結果合格したものには一臺いくらといふ金を與へて獎勵してゐますが、それが現在では十二種もあり内地だけで昨年末までに五百臺の薪炭自動車が走つてゐましたから近頃はこの倍にもなつてゐるでせう

◇木炭自動車

◇木炭に火をつける……

◇それでは薪炭自動車とはどんなものでせうか、前にも云つた通り原理は同じですが、その種類は十二種からありますので一々説明することは出來ません、そこでどうして動くかを簡單に説明しませう

木炭ガスを發生させる機械はガス發生爐、貯炭部、第一清淨器、第二清淨器、冷却器、水蒸氣分離器、乘ガス槽から出來てゐます、先づガス發生爐の底に眞赤になつた木炭火を入れ、その上に一杯木炭を入れてこれを溜めるやうにしますと一酸化炭素と水素その他のガスが發生します、火鉢や七輪に木炭を入れ上の方にまだ黒い炭がある頃青いやうな焔の上るのが見えるでせうそれはこの一酸化炭素や水素その他のガスが燃えてゐるのです

◇このガス發生爐の中に一杯になるとガス出口から押し出されて第一の清淨器に入ります、清淨器といふのは出來たばかりのガスには色々な不純なものが混つてゐますから純粹なガスにするためで、この清淨器を通ると次は熱したガスを冷たくするため水を通り抜けさせ、更に冷たくするために動物の腸のやうに曲りくねつた冷たい鐵管の中を通り、最後に水蒸氣とガスとを別々にするガスタンクに集められます、これで完全なガスが出來た譯で、そのガスがガソリンのかわりに機關に送られるといふのですから日本の科學も隨分進んだものではありませんか

◇木炭自動車のうしろ

コドモページ

大陸旅行九年半 自動車に乘り三人が

ブラジルのリオ・デ・ジャネイロとアメリカのニューヨークの間一萬六千百八十二哩を一台の自動車で九年半もかゝつて旅行した氣の長い三人のブラジル人がゐます、三人は一九二九年といひますから今から九年半前のことその時分の一番新らしい新式のフォードに乘つて意氣揚々とリオ・デ・ジャネイロを出發しまして途中の惡い路や大森林の長い旅をつゞけメキシコに出てやつと最近ニューヨークにたどり着きましたがこの旅行で使つたガソリンは四千卅二ガロン、タイヤーは五十六本、タイヤーの中のチューブは二百二十四本もつかつてしまひました、隊長のレオニダス・オリヴェイラといふ人は「途中では蛇や豹などから時々襲はれて死んだ思ひをしたことも度々でしたが一番へいこうしたのはこんな動物ではなくて所きらはずにかみついて來る蚊群の襲來でした」と元氣さうに語りました

コドモの世界知識

☆スペイン―水銀の發見　スペインのブルゴスの西に當る地方を試掘してゐた技師たちが偶然水銀の延び擴がつた層を發見したといふことです、この發見されたものの價値は調査のために呼ばれた鑛業專門家によつて決められるはずです

☆大西洋―氷山を警戒　大西洋の浮氷を警戒する監視船が再び活動を始めました　氷山の位置を船に警報するために北大西洋を巡視してゐます

☆インド―砂地に水を灌ぐ　ペンジャブの南西の廣漠な砂地に今度作物の取れるやうに水が灌がれました

☆ロシア―クロム鑛鐵の發見　昨年中ソヴエート・ロシアのノヴオロシスク、アクタイウビンスク地方でクロム鑛鐵がみつかりましたクロム鑛鐵はクロウムのもとになるもので鐵と重要な合金を作ります

☆オーストラリア―二萬二千哩の自轉車の旅　アデライドの人が自轉車に乘つて二萬二千哩のオーストラリアの旅をやり遂げました、この旅行には二ケ年八ケ月かかり、殆ど道のない荒地を通つたのでした

☆アフリカ―安全地帶へ行く象　澤山の象がポルトガル領の東アフリカからクルーガー國立公園へ移つて行つてゐます、今では約四百五十頭の象が公園にゐます

☆南アメリカ―鐵道の再建工事　何千人といふ人々が一九三四年大洪水で毀れたアルゼンチンとチリとを連絡する鐵道の再建工事を始めました

☆アフリカ―鶴の移動　季節にかけてヨーロッパへやがて飛んで行く白の鶴が今北アフリカにゐます、そこでは蝗その他の害蟲を驅除するので人氣があります

"ぼくらと牛はお友達" 可愛がりませう 大切にしませう

(牛)は生きた『寶物』であります、牛といへばその角を見、眼を見て直ぐに恐いもののやうに思はれますが、朝鮮牛は内地産の牛よりもおとなしくて、粗末なたべものにも何一つ不足も不平も云はず、とても强い力を持つてゐるのです、朝鮮の牛は女や子供にもたやすくかふことが出來ます、朝鮮で昔から子供がなければ牛を飼ふことが出來ないといふほどです。ある處では子供が學校にゆくほど大きくなつたのですが學校に出すと、牛を飼ふ者がゐなくなるので、牛がさびしがるからといつて學校に出さないといふかはつた話があります、朝鮮では牛と子供は離されないものなのです、朝鮮の牛は毛色が赤いので『赤牛』ともいひますこの『赤牛』が朝鮮中に百六十餘萬頭もありましてそのうち二十六萬頭が皆さんのおいしい牛肉になるのですが一日に朝鮮では平均して七十二頭の牛が牛肉になります、朝鮮牛が内地へ初めて移出されたのは相當に古いことで、今から七百九十餘年前の堀河天皇の御代のことで對馬に住んでゐた人たちと朝鮮の人々とが商賣のことで取引したのが始まりで、そのゝち豐太閤のころです松浦某といふ人が朝鮮牛を内地へ持ち歸り九州の長崎で飼つたことがあるさうです、今でも高麗牛といはれてゐるのを見てもづい分古くから内地に入つたものなのでせう

(朝)鮮牛は一體どれだけの値段でせうか、だいたい二、三歳の牝牛ならば中位のもので七十圓から百圓くらゐです、牛は百姓さんにとつて田畑をたがやす大切な財產です、牛車に物を運んだお金は大きな收入となるのです、ことに今度の支那事變以來内地でも朝鮮でも農家の馬が軍用馬として勇ましく出征しましたので留守番になつたモー君はとても忙しいのです、生きてゐる間はお百姓さん達になくてはならない大きな力であり、死んでからはその頭の先から角、蹄の端までちつともすてるところもなく私達が生活を助けてくれるのです

(わ)が國は毎年支那、オーストラリア、アメリカ等から一千萬圓といふたくさんのお金になる牛肉を輸入してゐましたが支那事變の結果これらの牛肉の輸入は自然なくなつて、足らなくなつたので、牛肉を日本でつくらうといふことがわが國の產業の一つとなりました、それで牛肉やその他いろ／＼のものに利用するために殺す牛の數は約六十萬頭ですが私たちはこの牛の皮を全部使つてもなほこの數倍も不足なのです、工業や軍需品として國防上大切なものです

(最)後に面白い話があります、日本でいちばんおいしい牛肉は『神戸肉』と云はれてゐますがその神戸牛はなんと赤い朝鮮牛のとなのです、このやうにわたくしたちにとつて大切な牛です牛に石なぞ投げてはいけません、みなさんのうちには牛乳で大きくなられた方もたくさんにありませう、牛を大切にしませう、のろくても牛のやうにだまつておこらずに自分の出來る仕事を力强く精一杯にやりぬきませう、牛は『德』であるばかりでなく、私たちの『手本』です

當代一流 爭覇戰譜

第七局 （圖は▲四九玉迄の局面）

平手 △四段 橋爪敏太郎
先 ▲四段 樋口義雄

持駒 △橋爪氏 歩
持駒 ▲樋口氏 角 歩四

△六九馬 ▲三九玉 △四七馬 ▲五二と 20 △二七銀 3 ▲四二と 1 △同金 ▲三七金 5 △三八馬 42 ▲同金 △五九飛 ▲四九銀 △九八香成 ▲二七金

觀戰記 六段 飯塚勘一郎

頑强な抵抗振り 狙ひは四三銀の頓死

（持時間各七時間） 累計 （樋口氏 四時間二十六分 橋爪氏 五時間二十六分）

前局は橋爪氏の五七香に、樋口氏が四九玉と逃げ、あわよくば三九玉と銀を取らうとした處

橋爪氏は直ちに六九馬と侵入して三九銀の代償を迫る、既に諦切りの手順である

此處で樋口氏に適當な防禦策があれば良いが、見逃す適所一枚では四七銀を繋ぐ手が無い、四七馬と手順に玉頭へ引かれるのは、危險が一層加はつて、受けがなければ、何とも辛い處であるが、三九玉の一手である

橋爪氏は銀を撲つて絶好の位置に馬をすえた、敵陣は薄い、飛を攻めながら玉頭に肉迫するのはいと易い事である

樋口氏も何とか敵馬を撃退したいが、かりに三六銀では、三八馬同玉、八八飛で惡るく、四八銀なら三八香成、同玉、五八香成りで甚だ惡い、又三六銀の處、四八銀とかまふして見ると、なまじ敵馬をかまふのは手順に迎擊を與るから、五二と寄つて何れが早いか、速度に訴へるより手段がない

橋爪氏の二七銀は當然の一擊で是に對する樋口氏の四二と、同金、三七金は、既に是あるを豫期した强防である

是で攻擊挫折か、順調に指し進んで來た橋爪氏の手許はハタと止まる、彼我の速度を計算し、最後の寄せを讀んだものと思はれる

偶然三八馬と飛を捨て、敵同金に、五九飛と打つ、是では四九銀合の一手である、同じ樣でも三八銀、同金、五九飛では早く二八玉の逃げが利く、それに多くの駒を持たせて置くと、四三銀、同玉、六一角の頓死筋を狙はれる、樋口氏に武器を打たせつゝ、五八香成ると肉迫する處に手順の妙がある

樋口氏の二七金は、見る間くなしの絶對絶命、斯うして玉の逃路を開らき、絶對試合を捨てない處に樋口氏の満々とした闘志が窺へる

アメリカの大學生がモーターに同情しました

アメリカシカゴ大學の機械實驗室で或る日電氣モーターが油無しで何時間ぐらゐ廻るものかとその實驗をやりましたところ、二台のモーターが三十五億回もまわつてゐた時、實驗のお手傳ひをしてゐた大學生の一人がいきなり油をさしてしまつたので折角の實驗もすつかり駄目になりました

そこで先生たちはその學生を叱りつけましたところその學生の言ふには「ぼくはいくら實驗でもあのモーターがギーギー悲鳴をあげながら無理にはたらかせられてゐるのはとてもなさけなくてちつと見てはをれませんでした」と申しましたので先生たちも感心されて「それほどまでに機械を可愛がる感心な心がけの學生がをるのは我が大學のほこりです」といつて大變よろこばれてゐます

ドイツの電氣村

何んでもすべて電氣を使ふといふ文字通りの電氣村がドイツに出來ました、ドイツの中部地方チューリンゲンのブルラといふ小さな村ですがこの地方はドイツでも電氣の普及がおくれてゐる所なので近くの電氣會社で電力をもつとたくさんの人に使はすやうにしようといふので一年間電氣を無料で供給することになつたものですが、どんな風かちよつと調べて見ますと村中の家々には電氣ストーブ、ヒーター裝置、電氣料理具、電氣仕掛の器具など日常の生活すべてにわたつて電氣を應用するやうになつてをり一度使つたらとても便利なので使はずにはをれぬやうになつてゐるといひます

海のカメラマン

勇ましい海戰の演習や大砲、飛行機などのはたらきを寫眞にうつしておくためにイギリスの海軍ではたくさんの將校カメラマンがゐますがこのほど司令部の命令で本國と地中海艦隊にカメラマンを増やすことになり希望者をつのつてゐます、イギリスでは年々二十四名の士官候補生が選ばれて寫眞術をならふのですがこれからの海軍士官は寫眞くらゐうつすことが出來なければ駄目だとイギリス海軍ではいつてゐます

日活映畫 少年突擊兵

原作脚色 笠原良三

配役
幸助……片山明彦
父 政之助……星ひかる
義母 恒子……瀧花久子
姉 時子……美川かつ子
花の家の小母さん……澤村貞子

◇氣の弱い兄の幸助と元氣で腕白な弟の仙吉とそしてこの二人を守る優しいお時姉さん……この三人姉弟のうちで一番兩親の氣にかゝるのは幸助だつた、お母さんが二度目だから──といふことがどうにも幸助の心をカラリとさせないらしい、『何かいふんぢやないのかい』もぢ／＼してゐる幸助を見て母親お恒がやさしく言葉をかけても『鉛筆を買ふんだい』と弟仙吉のやうな元氣な返事の出來ない幸助だ、お父さんがむつかしい顔をして横を向く……折角なごやかな家の中を暗くする幸助のひがんだ氣持を考へるとお父さんだつてツイ腹が立つてくるのに無理もない

◇或る日、學校の歸り途で意地の惡い三郎や郁雄たちから散々いぢめられた幸助は『手をついてあやまるのなら赦してやらあ』といはれて、意氣地なくも道路に坐りこんで『御めん』と淚聲を出して泣る所を運惡く弟仙吉に見つけられて了つた、『家に歸つたら叱られるに決つてゐる、仙吉はおしやべりだからキツトお母さんにつげ口してゐるだらう……』それで家の近くまでトボ／＼と歸つて來た幸助だつたがまたいつもの氣弱がどうしても家に入れようとはしないのだ、弱へてゐた幸助の頭に浮んできたのはいつもやさしい姉のお時の顔だつた、そのまゝかけ出して、お時のつとめてゐる喫茶店『ポエマ』の裏口に立つと『また、いぢめられたのね』といひたがらもツイ胸に抱きよせて『しつかりして頂戴幸ちやん、男のくせにすぐ泣いたりしちやだめ、もつと强くなるのよ、ね』あとは淚で口もきけずにゐる姉を見ると『うん、歸るよ、姉さんを泣かしてごめんね』スゴ／＼と歸りついたわが家では、もう幸助を待ちくたびれた仙吉たちが夕飯をたべ始めてゐた

『幸助何處へ行つてゐた』

『あなた、もういゝぢやありませんか──』

『よかあねえ、男のくせにメソメソしやがつて──幸助、お父さんが性根をなほしてやるからこつちへ來ねえ』

母のお恒がどう取りなしても、今日の父はきかなかつた

『お父さんはなにもお前が憎くてぶつんぢやねえ、可愛いからこそなんだ、お前だつてその位の事はわかるだらう』

お父さんの怒つた聲を聞いただけで幸助はもう泣くばかりだつた

×××

◇或る日曜日の朝

『幸助、お前も來年は六年だつたなア、今日はお父さんと一緒にお得意廻りに歩くんだ』

仙吉の遊びに行く元氣な後姿を見送りながら幸助はお父さんのあとについていつた、フトお父さんが足を止めた所は料亭『花の家』の前だつた

『幸助あれを見ねえ、魚徳が行くだ、良いなア魚屋も此家に出入りするやうになつたら天下一品だ』

獨り言を云つてゐるお父さんを見上げると幸助はフトさびしくなるのだつた、一日の仕事をすまして歸つて見れば家の中はたゞならぬ騷ぎやうだ、

『お恒、どうしたつてんだ、バタ／＼してさ』

『あなた、召集令狀です』

『さうか──』

喜びや祝ひ言葉をのべに來た近所の人々に取り圍まれたお父さんは急に人が變つたのかと思はれるほどに悠々としてゐた、帝國軍人としての意氣と血とが今お父さんの身體の中をかけめぐつてゐるのだらう、默つて見てゐる幸助さへ何だか力がグン／＼わいて來て、どんな事でも出來さうに思へて來るのだ

『皆こゝへ來てくれ』

お父さんは家の者を集めると靜かに言ひ出した

『一旦お上のお召しにあづかつたからにはわしも帝國軍人だ、決してお前達の恥になるやうな事はしないから安心してくれ、それからわしが凱旋して來るまで一と先づ店をたゝんで伯母の家に行つてお くやう頼んであるから──幸助も仙吉も、お母さんにウンと孝行するんだぞ、さあみたわかつたらう』

◇ゆつくり話すお父さんをとりまいてしばらくの間みな默つてゐた、幸助もうつむいて淚の出て來さうになるのをヂーツとこらへてゐた

『お父さんは戰爭に行くのだ、お父さんは戰爭に──』さう考へてゐる内に幸助の胸の中からなにか熱いものがずーと出て來たかと思ふと

『お父さん僕がやります、僕がキツと商賣を續けて見せます、安心して下さい』

『まあ、幸助！』

お母さんは驚きの餘り淚も出ないらしい

『本當か幸助、よく言つてくれた、それでこそ男だ、よし俺もこれで安心してやれるぞ』

魚政の一家には春が來た、

×××

『今日は、魚政ですが御用ありませんか』

幸助の威勢のいゝ聲だ

『まあ幸助さん、ご精が出るわね、戰地に行つてゐるお父さんに見せてあげたいわ』

おとくゐさんの先々で幸助はほめられた、日に／＼おとくゐはふえる一方でこのごろでは廻り切れないくらゐおとくゐを持つてゐる幸助だが、皆の喜ぶほどに幸助は威張つてもゐなければよろこんでもゐない、なぜだらう？幸助は料亭『花の家』を何とかして陷落させようとそればつかりを念願に願つてゐるのである、子供の幸助にはたしかに手强い敵みたいな『花の家』だつた

◇或る日のこと──

『やあーい魚や、魚やの幸助ッ』

フト振り返つてみれば意地惡の三郎と郁雄達だつた、幸助は足を止めかけたが又スタ／＼歩き出した

『負けて逃げるは、チヤン／＼坊主、魚や幸助チヤン／＼坊主やあい』

チヤン／＼坊主と一緒にされてたまるものか──

『にげたりなんどするものか、そんな卑怯者とは違ふぞ』

『何を』

『やつつけろ──』

◇三郎は急に威高氣になつて幸助にをどりかゝつて來た、だが今日の幸助は道路に手をついて詫びる幸助とは違つてゐる、帝國軍人魚政の一子幸助だ、幸助は三郎と取組んでゐる間に『負けるものか』といふ元氣がムク／＼とわき上つて來て足がらみにかけて三郎を投げ飛ばすとつゞいて來た郁雄をも何の苦もなく突き倒してしまつた『この元氣だ、この力だ』幸助は轉げてゐる二人を見下して身がまへた、コソ／＼起き上つた三郎と郁雄は向つて來るかと思つてたらランドセルも拾はずににげて行つてしまうた、幸助は追はうともせず、にげて行く二人の後姿を見送つてゐたが『さうだ、この元氣だ』と一聲叫ぶと荷をかついで一散に『花の家』にかけつけた

『今日は、魚政ですが、今日は御用はありませんか』

『まあ可愛い坊ちやん──』さう、魚政さんなの、まあお父さんが戰地に行つてゐるんですつて？感心だわね、いゝわ買つて上げてよ、明日もきつと來るのよ、每日買つて上げるわ』

幸助の元氣な樣子にすつかり感心した『花の家』の小母さんだ

『ありがたう小母さん、每日キツと來ますから』

思はず『萬歲』を叫びながら『花の家』をあとに幸助はピイピイと口笛を吹きならしながら意氣揚々とわが家に引き上げるのだつた

のどけき春の海

仁川で寫す

【仁川】閑長な春の海——小夜は陽光にかゞやき汀に……落花の風にひるがへる……

慶南の水產企業界 急速度に合理化

三大會社設立準備を進む 重視される新動向

【釜山】戰時體制下に動く魚價の高調子と一般の好景氣が反映し昨今の慶南水產界は俄に活潑な足取りを見せて來たが、水產企業の新機運は燃料油と漁網漁具などの消耗品の需給調節と經營の合理化に向つて急速度の轉向を示すに至つた、其精果既に表面化した計畫は內地阪神方面を最大の消費市場とするハモ、アナゴ漁業と販賣の關係團體を網羅する資本金百萬圓の朝鮮協同水產株式會社、同朝鮮鯖巾着組合を背景とする資本金百萬圓の南朝鮮水產株式會社及び內鮮製造業者と水產業者によつて發起された資本金二百萬圓の朝鮮漁網船具の供給會社の三會社が何れも設立の準備を急いでゐる、但し漁網船具株式會社は原料を海外輸入品に俟つ關係上資金調節會に抵觸するため設立は懸念されてゐるほか他の新會社は順調に進捗するものと見られてゐるが、資本の統合によつて慶南水產界が合理的に新しき方向に動き出したことは產業政策上重大な意義を有するものとして重視されてゐる

農事講習會

忠北で開く

【淸州】忠北道農會では產業道農に資すべく四月十一日から十七日まで一週間、道內各邑面から農事係技手または勸業書記計百六名を招集し、道農事試驗場で肥料その他農事講習會を開催することになつた
受講者は會場附近の篤農里及び住民家へ分宿せしめ、講習科目は農業一般、畜業改良、副業、米穀調査、穀物檢查及び共同販賣、土性調査、販賣肥料、稻作、田作改良、農具、自給肥料、蠶作等農事關係全般に亘り

高い乳幼兒の死亡率

外に實習を行ふが講師には農務課並に農事試驗場職員がこれに當り、別に金知事、楊參與官、吉岡內務部長、隅田地方課長、石井農務課長の課外講演がある筈で農村振興上劃期的な飛躍を試みんとする新年度當初に先づ第一線指導者に新知識と非常時局の方針を吹き込み更に時局認識をも深めんとする講習會だけにその成果は大いに期待されてゐる

を年齡別に見ると嬰兒から三歲までで百五十五人で總死亡者の四五、七％即ち約半數を占めてをり、つぎは三十五歲から四十歲までの壯年期が多い、乳幼兒の死亡率の高いのは保育上の不注意によるもので、社會問題として對策考究が必要である、更に死亡原因別をみれば消化器病が斷然首位を占め、つぎは呼吸器神經系病の順序である

土木景氣つゞく

十三年度の忠北は 諸工事七十八萬圓

【淸州】忠北の土木事業は十二年度に於て道路改修に八萬五千……一、二、三等道路改修に……

から土木景氣は依然として續くものと見られてゐる、工事施行箇所
中小河川改修 報恩川（報恩郡）稍谷川（鎭川郡）陰城川（陰城郡）忠州川（忠州郡）無心川（下鳩、淸州郡）永石花川（淸州郡）寶山岡川（槐山郡）美湖川（淸州郡）淸美川（陰城郡）▲一等道路改修 京城、釜山線（一忠州郡地內）外四箇所▲二等道路改修 公州、忠州線（淸州郡地內）外五箇所▲三等道路改修丹陽、堤川線（丹陽、堤、兩郡地內）外三箇所▲災害復舊工事淸州郡地內外十五箇所、なほ右工事に延人員約五十萬人の人夫が動員される筈

叺織競技會

【永同】槐山郡槐山面では去る十三日から十九日までを叺織り宣傳週間とし、十四日には同面會議室で管內各里から十三組參加の下に叺織競技會を開催、優良なるもの十組に賞狀と賞品を授與した

"その御質問ならば どうぞ議會で"

ユーモア府尹の答辯振りに 滿場ドッと大笑ひ

【仁川】府會七日目は十八日午後一時開會、出席議員十五名、第九號議案の歲入經常部から質問戰を展開した
▲小谷議員 豫算案の收入は非常に判りにくいが何とか改善の方法はないか
▲府尹 これは內鮮共に官廳のやつてゐる豫算案の作り方で致し方がない
▲小谷議員 牛皮乾燥場の將來の見透しと府尹の所見如何
▲府尹 現在は設立當初の意氣込みに似あはず不振であるが之は種々の原因によるものである、時局柄この事業は國家的見地から……

旨の知らせに接したことを議長報告し、全員起立して一分間の默禱を捧げた、臨時部歲入に入れば議事は一瀉千里に進み府尹答辯に大童である議長は判り易くするため附屬議案を先に審議すると第九號議案の第一讀會を暫く保留し第十號議案以下附屬議案の審議に入つた、府立濟生院使用條例中その理由は議員の希望により原案の字句を修正し
本條例は昭和六年改正以來數年を經過し近時物價高騰特に藥品類の騰貴の結果入院料を改正するを至當と認むるに由る
と改正一組に第廿八號まで審議を終了し午後四時半散會した

時局映畫會

【長湍】郡當局後援聯盟主催で十三日午後七時……

春川繁榮協會

會長後任に 久武氏推擧

【春川】繁榮協會では山中協會長の逝去に伴ひ後任會長決定のため顧問會に引續き十七日午後七時から金組樓上で役員會を開催、前保留會長司會の下に先づ顧問會の經過を報告、協會長には滿場一致で官選道議久武常次氏を推擧することに決定、更に役員會を直ちに總會に改め久武氏に會長就任を交渉するため左の委員を決定して同九時過ぎ散會した
顧問側、郡守、邑長、川崎、千葉▲役員側、岡井、荒木、佐藤

『口より手足』

漁家更生當選標語

岩田四郎伍長

名譽の戰死

【仁川】府內西京町二〇九岩田仙次郎氏次男小林部隊步兵伍長岩田四郎氏は二月廿四日山西省聖石附近の戰鬪で名譽の戰死をとげた旨十八日原隊から通知があつた、同氏は仁川商業卒業後府內朝日洋行に勤務してゐたが今回の事變に兄猪雄氏と共に應召し北支の野に轉戰、十月十日渡河戰に第一回の負傷をし、更に山西省非稼附近の激戰で右肺部に破彈の破片を受け、〇〇病院から〇〇〇〇病院に入院十一月末傷癒えて再度戰線に復歸し、活躍してゐたが遂に二月廿四日山西省聖石附近の戰鬪で護國の人柱と化したものである、西京町の留守宅を訪へば厳父仙次郎氏は悲痛を隱し、香煙立ち上る佛壇の前で語る
かねて覺悟はしてゐました、二度も負傷しながら天祐を得て今日まで戰つて死んだことですか……

長湍の獸醫講習會

【長湍】郡農會では十四日から……日間郡農會議室で面獸醫講習會……

鐵川の座談會

【永同】去る十三日午後一時から鐵川郡農會議室で時局再認識及志願兵制度學制改革に關する座談會を開催した

中等學校入學試驗問題

開城商業學校

國語科

1（小學校、普通學校）
一、次の文を讀んで後の問に答へなさい
今より二百數十年前、山城宇治の黃檗山萬福寺に鐵眼といふ僧ありき。一代の事業として一切經を出版せんと思ひ立ち、如何なる困難を忍びても、ちかつて此のくはだてを成就せんと廣く各地をめぐりて資金をつのること數年、やうやくにして之をとゝのふことを得たり、鐵眼大いに喜び將に出版に着手せんとす、たまく大阪に出水あり、死傷頗る多く、家を流し產を失ひて路頭に迷ふ者數を知らず、鐵眼此の狀を目擊して悲しみにたへず、つらく思ふに『我が一切經の出版を思ひ立ちしは佛教を盛にせんが爲、佛教を盛にせんとするはひつきやう人を救はんが爲なり、喜捨を受けたる此の金、之を一切經の事に費すもうゑたる人々の救助に用ふるも歸する所は一にして二にあらず、一切經を世にひろむるはもとより必要の事なれども、人の死を救ふは更に必要なるに非ずや』とすなはち喜捨せる人々に其の志を告げて同意を得、資金を悉く救助の用に當てたりき
問1鐵眼ハ何處ニ住ンデヰマシタカ
2彼ハ何ヲナサソトシマシタカ
3ドウシテ資金ヲ得マシタカ
4『出版に着手せん』トシタ時ドンナ事ガ起リマシタカ
5得タ資金ハ何ニ使ヒマシタカ
6何故使ヒマシタカ
7佛教ヲ盛ニスルノハ何ノタメデスカ
8『喜捨』トハドウスルコトデスカ
2（小學校）
二、次ノ文ノワケヲ書キナサイ
1過ぎたるは及ばざるが如し
2御全快なされ候樣切に祈り申候

算術科（その一）

(1) 次の各式を計算せよ
(イ) 735,44+0,183−0,918+3,37+1,025+0,9
(ロ) 390,97×326,4
(2) 次の各式を計算せよ
(イ) $12\frac{1}{4}-6\frac{3}{5}-5,5$
(ロ) $1\frac{2}{9}\times2\frac{2}{15}\div2\frac{14}{15}\times\frac{3}{8}$
(ハ) $\frac{2}{3}-\frac{1}{9}\times3\frac{1}{2}\times\frac{8}{9}$
(3) 或人が家屋を仲立商の手で賣り賣價ノ3分に當る口錢と外に雜費5圓80錢を拂つたら手取金は4344圓20錢であつた、賣價は何程であるか
(4) 或人が立木の高さを測らうと思つて、その影の長さを測つたら3米あつた、そのとき長さ66糎の棒を地上に立てたら影の長さが44糎あつたこの立木の高さは何米あるか

（その二）

(5) (イ) 4：8,4 の反比を書きその値を求めよ
(ロ) 30日：7日、21人：40人、18圓：36圓 ＝□時：8時 を解け
(ハ) 4,2−{3,6−(2,07−0,035×2)}×0,75 を計算せよ
(6) 人夫の賃錢が男4人分と女7人分と等しいとき女1人分が92錢であると男1人分は幾らであるか
(7) 或仕事をするに甲1人では18日かゝり乙1人では21日かゝる、この仕事を甲が6日だけして殘りを乙がした、乙は幾日働いたか
(8) 或町の人口は一昨年の初に48000人であつたが同年末に調べたら年初の人口の2,5％を增し、昨年末には更に前年末の3％を增して居た、昨年末の人口は幾人か

御存知ですか 大豆の用途

食用肥料等の外に 石鹸、火藥等卅餘種

開城の中等學校誘致 基金造成に着手

建議案の通過に力を得て 期成會愈よ乘出す

江原道の火田民

轉業や移住を斡旋 道當局整理に苦心

戰利品展覽況

春川農學校

入學試驗合格者

齒と齦を強く美しくする
ライオン齒磨
總當り大懸賞
此の豪華な大賞品が當る!!
どの賞品を御希望ですか!!
壹等
(1) 美術置時計
(2) 最新小型ミゼット寫眞機
(3) 高級空氣銃
(4) クローム側腕時計
(5) ラヂオ・セット
十二名
貳等
高級萬年筆とシャープ・ペンシル
四十名
參等
優美函入タオル
百名
四等
スター・サイン入レビュー鉛筆(半打)
六百名
等外
ライオン齒磨試用袋
殘全部
(但し以上十萬名の割合)
懸賞課題
朝晩どこの御家庭でも必ずお使ひになる物で、ムシ齒を豫防するのに有効な物は何ですか、次の○の處へ適當な文字を入れて下さい。
ラ○オン齒磨
應募規定
一、應募用紙 ムシ齒を豫防するに最も有效なライオン齒磨の次の五種の何れかへ書いて下さい。
ライオン煉齒磨(家庭用・大形・中形 但し小形は二個分)の外函の裏面。
ライオン粉齒磨(特大袋・大袋)の上部を四分の一切り取り、それを葉書大の紙に貼つたものゝ裏面。
潤製ライオン齒磨(の帶封を取り、それを葉書大の紙に貼つたものゝ裏面。
ライオン齒刷子(三號形・二號形)外函の裏面。
ライオン水齒磨(一號瓶・二號瓶)の包裝紙。
一、書き方
應募用紙へ次の四つを判り易くお書き下さい。
一、課題の答 三、御希望の壹等賞品名一つ
二、御住所と御姓名 四、此廣告を御覽の新聞名
一、送り方 お買求めの販賣店へ御托し下されば郵税も省かれて御便利です。又は直接次の送り先へ御郵送下さい。(二〇グラムまで四錢切手を貼ること)小包便でも結構です。郵税不足は受付けません。
一、送り先 朝鮮京城府南大門通五丁目日華ビル内
ライオン齒磨朝鮮駐在所懸賞係
一、締切 七月二十日迄に駐在所到着分に限る
一、抽籤方法 八月上旬所轄署員お立會の下に、嚴正なる抽籤を行ひ、一等は正解を希望別に抽籤し、二等以下、一等に當籤洩れの分を合せて順次抽籤致します
一、當籤發表 九月中旬
主なる新聞紙上に一等、二等、三等、の御當籤者を發表、其他は賞品の發送を以てこれに代ふ。
一、其他 應募區域は朝鮮全道に限る。
ライオン齒磨本鋪
株式會社 小林商店
東京・大阪・名古屋
口中にゐる恐ろしい無數のバイキンを吸着除去して、齒と齦を強くする健康生活の必需品!!
LION TOOTH PASTE
TRADE MARK
T. KOBAYASHI & CO. LTD.
TOKYO JAPAN
潤製ライオン齒磨

見果てぬ青春 (64)

川口松太郎 作　志村立美 繪

〔松竹蒲田上演映畫化〕

壽美次（五）

氣色ばんだ瀧龍の態度に氣がつくと、若い青年は狼狽して

『いえ、實は、妙なお噂を聞いたものですから、失禮なたづね方をしたんです、御立腹なさらないで下さい』

『どう云ふ噂をお聞きになつたのです』

『つまり、壽美次さんの實のお父さんは、相當、地位のあるお方だと云ふ風説なのです』

『……』

『華族出身の外交官だと云ふのですが、事實でせうか』

『……？』

『お差支へなかつたら、お話が願へませんか』

『嘘です』

言下に瀧龍は否定してしまつた。まごついたり、驚いたりしてゐると、相手の疑惑を深める因だと思つて、躊躇なく打消して

『時々、さう云ふ馬鹿な噂を立てられて困つてゐるのです、そしてその噂の出どころも判つて居ります。が、そんな事はみんな嘘です。あれの父親はさう云ふんではありません』

『と、どう云ふ御身分の……』

『極く當り前な商人です、今では名古屋の方に居りまして、往來はして居りませんが、外所ながらあの娘の踊りも見物に來てくれました』

藤村の事を思ひ出して、瀧龍はそんな嘘を吐いてしまつた。

『さうなんですか、噂はみんな嘘なんですね』

『デタラメなんですよ、その當時あるお方から大變御贔屓になつたので、讃子はその人の胤ではないかと疑はれた事があるんです、それが噂のもとになつてゐます』

『外にお父さんがあるんぢや話になりませんね』

『ヘンな事が出ると、その方に申しわけがありませんし、身の上ばなしは勘辨して下さいましな、どうせ藝者の娘ですし、父親と云つても、晴れて名乘り合ふ事も出來ぬ境遇にゐますから……』

『いや、判りました、それだけ伺へば十分です、立入つた事をおたづねして申しわけありません』

『いゝえ』

『これから踊りを拜見します、壽美次さんの天才ぶりを……』

さらりとした態度で、笑ひながら若い記者は、舞臺の方へ立去つて行つた、ほつとしてその後姿を見送りながら

『こんな事が新聞社のお方の耳に入るやうでは、よほど氣をつけなければならない』

ひそかに瀧龍はさう思つた。讃子にも、明男にも、まだ實の父親は打ちあけてなかつた。當人たちは薄々知つてゐるかも知れぬが、母の口からはつきり打ちあけたことはなく、二人ともまだそこまでの智惠は廻つてゐない、讃子は藝ごとに一心をこめてゐるし、明男は中學校の入學試驗で、瘦せる思ひをしてゐるし、藝と勉強にかまけてゐるのが、好い按配といへばいへるくらゐで、今の内から氣をつけて置かないと、やがては『實の父親』を求める子供たちの心が、目に見えるやうに案じられるのであつた。

ラヂオ朝鮮見物 南鮮・中鮮の巻

【後6時】（釜山）釜山コドモ會 （京城）DKコドモ會

そろそろ春めいて來た朝鮮の南鮮と中鮮を今日はラヂオで御案内いたしませう

六千噸の堂々とした立派な關釜連絡船が横着けになる處―其處が釜山です、釜山へ着くと周圍の樣子がからつと變ります―白い着物を着た朝鮮人―朝鮮語の會話も耳珍らしい風景でせう、釜山見物がすむと廣軌列車、つまり内地の汽車よりレールの巾の廣い大型の汽車に乘つて南鮮の名所慶州の佛國寺を見物、古代朝鮮文化の跡を偲んだ後今度は半島の首都京城見物です

そうして一番お終ひに高麗朝の古都、人蔘で有名な開城を見物して朝鮮見物『南鮮、中鮮の巻』のラヂオ旅行を終る事にいたします

舞台劇 兄弟姉妹

（大阪中座より中繼） 松竹家庭劇 【後2時】

農西田甚太郎一家は二男の讓治を頭つた、母ひさは讓治が可愛いかつた、遠くの學校へもやりたくなかつた、多くの子供が皆離れて行くので讓治だけはと田舍で育てた、都會生活の長男一郎、三男三郎、四男四郎、安子などは揃つて田舍で育つた讓治を侮り低腦扱ひにした、ひさはそれが辛かつた、ひさの還暦祝ひに集まつた多くの子供は讓治を虐げたそして彼等の生活振りの派手なことを吹きまくつたその實みな讓治が働いて貯めた金をひさから引出して使つてゐるのであつた、長男一郎も三千圓の借財に苦しんでゐた、結局父にすべてを打明けてすがつた、それを知つた讓治は父に心配さすよりはと自分がこしらへることを約す一郎も讓治の温い氣持を知つて終生の思ひをする、ところが母に預けてある金はなかつた、兄弟一同は讓治にすべてを詫びた、併し讓治は兄を助けるために持山を賣つて急場を救ふ。

日曜特輯ニュース演藝 轟く步調【樋口十一作】

【後七・三〇】 河合榮二郎外

この度のニュース演藝『轟く步調』は、陸軍報道部を志して夜々陸戰隊との新聞記者から特派され、親しく上海、南京を中心に新戰場を親しく視察して此戰陣つた同劇劇藝部員樋口十一氏に執筆を依嘱して戰陣措く能はなかつた印象を基とし、これに新鮮なニュースを盛つたものである。すでに北支、中支に奔動れたとはいへ、未だもつて戰雲は霽れやらない。一日も早く東洋永遠の平和を招來せんとすれば、長期戰を覺悟しなければならない。わが將士は勝つて驕らず更に兜の緒を締めるばかりである戰線に於ける喜び、驚き、樂しさなどのくさぐさの挿話を綴つてここにこのニュース演藝『轟く步調』は成つたのである。

【その一】揚子江遡江部隊 十二月十三日南京江岸に進出した揚子江遡江部隊の殊功の數々は長くも上聞に達し又長谷川司令官の放送に當り帝國軍用犬協會の援助に仍り既に新興映畫『戰線に吠ゆ』その他の映畫に出演した軍用犬カルメン號の出演を見、見放送効果をより立體化するを得た敵の退路を封鎖しその主力を殲滅長官より感狀を授與せられた。今その勳を積んでこの艦は何ヶ月振りかで揚子江を下つて行く。甲板では便乘の特務隊が思ひ思ひに花を咲してゐると垣間見る日本兵を乘つて艦に乘込んで來たシェパードの犬太郎も仲間入りして、話は盡きるとも見えない。と突如、空中の空襲に逆ふが敵の擲彈は附水中に落ちて澤山魚を御馳走してくれる。其の他幾多のエピソードを乘せて艦は一路上海へ。

【その二】スポーツを銃に代へて上海の日本人宿はいつも陸兵達で一杯である。それらの中に第八回伯林オリムピックに出場の高木選手が今度陸軍少尉として出征、日本選手として泊つたその同じ宿に再び宿の人達と逢つて、當時の感激を語り又、新しき日本の出發を語り合ふ。

【その三】湖州敵前上陸部隊 湖州守備の兵家さんが宣撫工作の一として、宣撫部隊長作詞、海老沼某の作曲の敵謠を支那の兒供等と共に歌ひ、又その歌を歌ひつゝ前線部へと出發する。

【その四】前線部隊出發 歡呼を浴びて前線部隊が大陸へ大陸へと出征する。

一刻千金の宵 シロタ教授に話題はたぎる

廿二日夜京城府民舘＝本社主催

話題はこゝに集中、市内各樂器店楽器、本社主催レオ・シロタ教授ピアノ獨奏會は待望の嵐に迎へられて愈よ明後廿二日午後七時から京城府民舘大ホールに開かれることゝなつた、久しく樂聖の神技に渇えてゐた京城樂壇はシロタ教授招聘の發表されるや俄然賣劵實行所に付申込殺到し飛ぶやうな賣行きを示してゐる各學校からの團體申込も續々持込されて今から當夜の盛況が偲ばれる

【會員券は一圓、一圓、七十錢】

京日特選棋譜 (2)

八段 高部道平 / 五段 小澤正了（二先番先）

白八以下十八迄

秘密暴露 覆面道人

有利と云ふ理

昨日の白八に、本日は黑九と始まつたが、この白八の方向は左上隅の黑二子が上面への發展を性を見込んで以下白十とつたもので、黑の發展阻止である。併し黑九を十のすぐ右だと、白は直ちに九と替つて、白が得ふ『有利』と云ふ『理』。ここまで云へば明瞭であらう

十一の作戰

處で黑十一に就てだが、この黑十一を十五だと、白は十一の所。また黑十一を十二だと白は十一のすぐ右の所。と何れも定石の推移それを黑十一と譜面の運びは定石外で、ここに戰略を要する黑の戰術作戰がある。その戰略とは……これを暴露するのは小澤氏には惡いが、何とも致し方がない

航海安全針路

要するに以下白百十八と進行しただが、黑十一に危險はない。それは白十八に次で、黑は十一の左方一間の所に安全針路が明瞭に示されてゐる『航海安全』それに黑十七の方へも黑地が出來、また白八と十との間に白地を與へない。これが黑十一の戰術作戰だ。だが黑は今や何事か計を立てつゝある。これが明日現はれることにならう

一層惡影響

次に白十四を十五だと、黑は十七の處下に一間飛びが定石。それより白十四の方が、要するに以下白十八となつても解る如く、即ち黑十一に惡影響を與へた白が作戰所で黑十五が參考圖に於ける黑十五だと以下白二十となるこれは黑十一の方へ一層の惡影響である

第一放送 ラヂオ 二十日（日）

朝の部

午前六・五五 ニュース
七・五一（東）ラヂオ體操
八・一〇 今日の天氣見込
九・二〇（城）氣象通報
九・三〇（東）うたのおけいこ 春の歌 ダン道子
一〇・〇〇（官）皇威宣揚武運長久祈願祭實況―官幣大社宮崎神宮より中繼―
一〇・四〇（京）講演 史實に見る祖國日本の姿 中村直勝
一一・一〇（大）海外市況
一一・二〇（大）講演 支那今昔物語 穗積左次郎

晝の部

正午（東）時報 引續き 入學試驗合格者發表（京城）京城職業
〇・三〇 ニュース
一・〇〇 滿洲より（新京）講演 滿洲建國の二重の喜び 建國大學教授・陸軍少將 辻 權作
一・二〇（城）歌と尺八 濟生院盲啞部生徒
一、齊唱（イ）春風（ロ）水車
二、横笛獨奏 他鄉の月 高鹿賢
三、尺八合奏（イ）春の訪れ ピアノ伴奏 咸二榮 尺八 白占白 同 黄路石 箏 中塚涌夢
（ロ）追分 尺八 金千年 同 韓泰洙 同 黄路石
一・四〇（城）江差追分 瀬川清月 永井すゑ子 高宗竹鳳 瀧川秀鳳 尺八
二・〇〇（大）喜劇―道頓堀中座より中繼― 場景 第一場 農西田甚太郎家の裏口 第二場 同
◆兄弟姉妹◆茂林寺文福・作 松竹家庭劇 配役（登場順）
村の若田中 曾我廼家 時雄
叔父 嘉助 曾我廼家左久馬
魚屋 太吉 曾我廼家 十郎
農西田甚太郎 志賀廼家 淡海
次男 讓治 曾我廼家 十吾
安子の婿大川 森 英二郎
末女 安子 石河 薫
三男 三郎 元安 豐
四男 四郎 高田 亘
四郎の妻房枝 石島 康代
甚太郎の妻おひさ 曾我廼家 天照
長男 一郎 渋谷 天外
一郎の妻芳子 浪花 千榮子
會社員 楠 桑田 通天
外囃子連中

夜の部

三・〇〇（東）管絃樂 現代日本の音樂（定期演奏第三回）日本放送交響樂團 指揮 小船幸次郎
一、古代旋法によるアダヂオ
平尾貴四男作曲
二、小交響曲 二長調 秋吉元作作曲
第一樂章 アレグロ 第二樂章 アリア 第三樂章 日本風サラバンド 第四樂章 遁走曲
三・三〇 入學試驗合格者發表（京城）京城商業
三・三〇 產業ニュース
四・〇〇 ニュース・氣象通報（釜山・清津）
六・〇〇（釜・城）ラヂオ朝鮮見物（全國中繼）『南鮮・中鮮の巻』 釜山コドモ會
六・二五 日埃國際放送―JOAK及カイロ―
一、司會 東京市オリムピック委員長 中塚榮次郎
一、挨拶 （一）國際オリムピック委員 東京オリムピック組織委員 嘉納治五郎 （二）國際オリムピック委員會委員長 バイエ・ラツール伯 （三）埃及オリムピック委員會委員長 モハメッド・タヘル・パシヤ
一、競事經過 東京オリムピック組織委員會事務總長 永井松三
一、日本國歌
一、埃及國歌
六・三〇 產業ニュース
七・〇〇 ニュース・天氣見込
七・三〇（東）日曜特輯ニュース演藝 轟く步調 河合榮二郎 小堀誠夫 前田晃 軍用犬カルメン 合唱 コール・デアール他 伴奏 東京放送管絃樂團 編曲並指揮 池讓 演出 JOAK文藝部
八・〇〇（東）ピアノ獨奏 レオニード・クロイツァー ショパンの作品―第二夜 （一）前奏曲（全曲）續き （二）練習曲
八・二五（東）長唄 ◆瀧流䡄◆ 唄 吉住小太郎 吉住小三八 吉住小兵衛 三味線 稀音家和三郎 稀音家六郎 上調子 稀音家和三助
八・五〇（東）物語 江戸繁昌記 德川夢聲
九・二〇（東）時報 ニュース・ニュース解説・氣象通報・翌日の番組
九・二〇 レコード音樂

第二放送

午後〇・五〇 伽倻琴併唱
一〇・〇〇（城）地方へのニュース
一〇・四五（東）支那語ニュース
一〇・五五（東）英語ニュース
一・二〇 漫談
六・〇〇 ラヂオ朝鮮見物＝全中
六・二五（東）國際放送
七・二五 孔明歌外
八・〇〇（東）ピアノ獨奏 李貞鳳
八・二五（平）宗教音樂 平壤章台院
八・五五 ラヂオ小說

あすのきゝもの 廿一日（月） 春季皇靈祭

午前八・一〇 今日の天氣見込に引續き入學試驗合格者發表（京城）龍谷高女
九・三〇（城）合唱と管絃樂 合唱 こまどり唱歌隊 管絃樂 DKオーケストラ 指揮 洪蘭坡 DKオーケストラ部員
午後一・〇〇（東）新日本音樂 川本晴朗・外
一・三〇（東）御詠歌
一・四五（東）映畫劇 汐見洋・外
世紀の合唱
二・二五（東）琵琶
二・五五（京）混聲合唱
六・〇〇（大）國史劇 輝く日本 ◆坂上田村麿◆ 大阪國史劇研究會
六・三〇（城）講演 時局と結核 總督府衛生課長 西龜三圭
八・〇〇（城）トーキー中繼＝若草劇場より中繼＝『オーケストラの少女』より
八・〇〇（城）音律（京城第二放送）朝鮮正樂傳習所員
八・三〇（靜）歌謠曲（靜岡放送局開局七周年記念放送實演大會々場）より中繼
八・五〇（靜）浪花節 春日井梅鶯

超技術

京城女子師範校長 高橋濱吉

專門家が誰にでも奏唱し得る平易なる歌曲を以て滿堂の聽衆を感動せしめるのは決してその單なる技術のみではないと思ふあり餘る技術を以て、否むしろ技術を超越して作品の本質に觸れたる時初めて聽衆をして眞に音樂の法悅境に導き入れることが出來るものではあるまいか、今回リストの再生と傳へられる世界的ピアニスト、レオ・シロタ氏の獨奏會が近く催されるに當り彼の吹込によるレコード數枚をかけて見たのであるが先づ彼の物凄い技術には啞然たるを得ない、全く素晴らしい。ピアノもかくまで彈ければと思はざるを得ない、而してこの卓越せる技巧を以て展開される音樂は恐らく他に之を求める事は不可能であらう、彼こそは正に技術を超越した人であり、如何なる難曲も何等の不安なしに、リストを、ショパンを、ベートーヴエンを樂しめる唯一の人ではないかと思ふのである、三月二十二日親しく

彼の風格に

接し彼の指先から流れ出づる素晴らしい音樂を直接耳にする機會を得多忙なる昨今ではあるが何とか都合つけて出かけ度いと思つてゐる

三月の學友映畫會

學友映畫會三月例會は次の日程で府民舘に上映

◇廿日正午午後三時午後七時（初等學校女子中等校）

◇廿一日正午、午後三時午後七時（男子中等校）

◇映畫は冊の曲（廿日、廿一日夜のみ）エノケンの猿飛佐助（廿一日晝間のみ）世界發聲ニュース

江差追分

【後一・四〇】（唄）瀬川清月 （尺八）瀧川秀鳳

『前唄』國を離れてアノ北支那へいくよねざめの波まくら朝な夕なに聞ゆるものは友よぶかもめと波の音

『本唄』かもめの鳴く音にふと目をさまし あれは北支の山かいな

『後唄』故郷はうしろ海山こえて目に思ひをますかがみ（唄 永井すゑ子 尺八 瀧川秀鳳）

『前唄』兄は海軍荒波の上弟は陸軍北支那妹は赤十字アノ救護婦に三人揃ふて國のため

『本唄』敷島の大和心をモシ人問はば朝日に匂ふ山櫻花

『後唄』人は一代、名は末代よ消れなき名を世に遺せ

『前唄』伊勢のみたさは御國のたから尊さよ朝な夕なによしおがみ遠き神代の昔より流れも清き五十鈴川（以下略）

管絃樂（午後三時）

日本放送交響樂團 指揮 小船幸次郎

一、古代旋法によるアダヂオ

平尾貴四男作曲 平尾氏は巴里へ留學スコラカントルムで勉強した作曲家です この作品は一九三五年度新響コンクールに選ばれた作品である。古典音樂の手法を籍りて古い日本音樂の趣きを出さうと試みた作品

小交響曲二長調 秋吉元作作曲

第一樂章 アレグロ
第二樂章 アリア
第三樂章 日本風サラバンド
第四樂章 遁走曲

『古典的』といふ名をもち、第二第四樂章が交響曲より小さな規模で書かれてゐる

日本的旋律に終始してゐる。この曲はヨーロッパで屢々演奏され、昨年の秋日伊交驩放送の時、この第一樂章だけがローマから放送され中繼したことのある曲である

◇

小船幸次郎氏は現代作曲家聯盟に屬してゐる作曲家、放送協會募集の『日本の民謠に基づく舞曲』に入選したことがある。指揮はローゼンシュトック氏に就いて學んでゐる